

臨床福祉専門学校
柔道整復学科 平成 26 年度 第二回学校関係者評価委員会 議事録

日時：平成 27 年 3 月 9 日（月） 16：00～17：00

場所：臨床福祉専門学校 202 教室

出席委員及び所属

岡部 洋興（鶴川接骨院院長）
豊島 公（東京都柔道整復師会北多摩支部参与）
藤巻 有久（石川島記念病院整形外科医）
中島 嘉和（臨床福祉専門学校 柔道整復学科長）
荒井 一彦（臨床福祉専門学校 柔道整復学科）
萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務次長）
樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務主任）

1 自己点検報告書に基づく、平成 26 年度の改善点について

比較的评价がしやすい分野を特定し、重点項目とする

①「基準 5 学生支援」保護者（保証人）に対する情報提供

生徒が学業に専念し、無事に卒業する為には、保護者との協力と連携が必須である。
協力・連携という観点で意見交換を行った。

（意見交換）

- ・大人といえども学生なので、特に出席率が悪い学生には保護者に対してインフォメーションを出す。タイミングとしてギリギリではなく、継続的な休みが見込まれた段階が望ましい。
- ・近年の傾向として、学生同士がしゃべらない、学生の状況がわからない。成績、出席にとらわれず、入学後学校生活に対しての情報確認を保護者とした方が良い。
- ・対象となる学生に対しての出来る限りのサポートを行いつつ、保護者への連絡をとる。

→学生の質に関しては、入学時点である程度はつきりする。職業に対するの関心がない。

②「基準 5 学生支援」学生サポート

新入生歓迎会の実施・学生相談室の活用

（意見交換）

- ・入学時の学生同士のつながりを持つ為、新入生歓迎会は行った方が良い。
- ・学生相談について、学費が払えないという学生の対応について奨学金・教育ローン・分納制度の紹介を徹底する。

※「学校関係者委員会の改編についての趣旨説明」

平成 26 年度任期は今回の委員会で終了となる。

平成 27 年度以降については学科別であった三委員会を一つに集約する。

学科別の評価ではなく学校の全体評価として取り行う。

以上